（昭和七年六月十五日第三種郵便物認可）

夕刊

常磐新聞

七月十九日

發行兼編輯印刷人　伊藤隆次
福島縣小名濱町古港一
發行所　常磐新聞社
日刊但日曜祭日翌日休刊
一部二錢　一ケ月　三十錢
廣告料　一行　五十錢

クスリ
資生堂
小名浜町
電一四七

泉小鐵道敷地買收に難色あれば

## 湯本廻りも敢て辭せずの色

### 採らぬ狸の皮算用御要心

磐城海岸軌道株式會社の劃期的計畫に成る泉驛小名濱間鉄道布設問題は泉村方面鐵道敷地は大体順調なるコースを辿りつゝあり鐵道省合認可も時日の問題と迄進捗してゐるが地元たる小名濱町の路線敷地に却つて難色ある狀態で要所々々にトーチカの如く先廻りして土地の買收を敢てするなど會社(1)平市四軒町四伊藤一郎(一九)—假名—は昨年末頃式行爲者に對しては心穩かから磐城高等女學校附近で署では此の點頗る遺憾としてゐる

として足元の見えた支那(2)市内北目町洗濯業金澤直(三三)は夜盡の區別なく七軒町、城山方面に出沒傘で面体を隠し女と見れば奇怪な振舞をなし附近の人人は何者とも判らず傘化物と呼んでゐた、同人は平常は實直を裝ひ賞め者であつたと

(3)市内仲間町運見五郎(一九)—假名—は城山方面を主に五十四回に及ぶ、自白するところによれば何れも目的を達しなかつた

(4)市内才槌小路材木商店員渡邊正雄(一七)—假名—で去る六月中ぼう保險會社婦人外交員(五三)をおそつた外數件を働いてゐる十八日夜聚樂園附近を徘徊中逮捕された

尚ほ外に短刀を懷中に夜中市内をうろつき廻つてゐた磐中生一名、城山青年學校生一名が檢擧されてゐる

## 被害者へ

### 屆出は直に

今回の事件中被害者から直接屆出たもの一名もなく名譽や体面上泣き寢入りするため檢擧が遲れたもので平署では此の點頗る遺憾としてゐる

## 平市内に痴漢横行

### 狙はれた婦女子八十名

中には重役夫人、女教諭等

去る七日夜平市縣社子鍬倉で檢擧するに至らないが此神社裏の暗がりで平局交換の捜索網に意外なち漢が續手鵜沼とめさん(一九)を襲々と引つかゝり取調べの結ひ兇器を振つて重傷を負はせ目的を遂せず逃走した犯人について平署では引續き捜査の手をすゝめ犯人は未果會社重役夫人、令嬢、女教ゆをはじめ約八十名の婦女子が狙はれた恐るべき事實が判明した

## 檢擧された四名

### 十九少年、一人で五十四件

目下平署に留置中の者は次漢の一掃を期して追求の手の四名で同署では此の種ちを延ばしてゐる

## 日本飛行機會社で

### 素人青年工百名募集

縣學務部長通牒として各町村役場に移牒して來た求人——横濱市日本飛行機株式會社では優秀なる素人青年工百名を募集する、高卒滿二十歳より二十四歳迄勤務時間八時間、入社當時四十圓より四十五圓を給し三ケ月後は五十圓以上を給する筈である希望者は各役場に紹合すれば委細判明する

## 煙草試作狀況視察

濱田參事來郡

專賣局濱田參事郡山專賣局吉田局長等は十七日夜來郡十八日鶯煙草耕作組合長、諸橋同副會長等の案内で今年秋に竣功する小名濱上水中工事は既報の如く諸材料高騰のため設計の一部を變ら中西主事、郡農會から吉更して既に立案成り目下徴收中の淨水池土木工事並に排水設備工事見積書も來る二十二日までは全部まとまり順調な進渉を見せてゐる

## 上水道敷設工事

### すべて順調に進渉

工費四十八萬圓を以つて明村の小麥共同出荷打合會は傳貧　澤渡村大字上市苴宇諏訪阿部彌須致氏所有の牝馬(八才)は十八日傳貧と決定屠殺處分に附された(以上両角部隊)

小麥共同出荷打合會　錦

## 第四回目の慰問袋募集

小名濱町では酷熱の下に活躍する皇軍のために第四回慰問袋募集を行ふ、期日は來る二十五日迄各區の割當數並に取纒代表者は次の如く想問品は途中腐敗流出の虞れあるものは避けられたいと

▲第一く五十個志賀コト
▲第二く六十個大浦みの
▲第三く四十個小野シゲ
▲第四く二十個堀越ヒヤク

## 立憲養正會時局演說會

立憲養正會の時局演說會は二十二日午後六時半から平市第三校で開催される、辯士は本部總務代議士田中耕氏外數氏

## 兩角部隊の英靈三柱

徐州會戰に不滅の武勳を輝かせた両角、田代、添田、倉林各部隊の英靈八十八柱は來る二十五、六日頃なつかしの故國に凱なき凱旋をするが地方關係の分は次の通りである

小名濱町一等兵松崎重久
磐崎村伍長吉田一郎、湯本町上等兵生田目繁次郎

## 縣下大會

### 柔劍道選手

縣下中等學校体育聯盟主催第十七回柔劍道大會は來る二十三日白河中學校で開かれるが參加校二十二、磐中平商両校からの出場選手は左記の通り

(磐中)柔道—佐藤誠、會川晴洋、箱崎義弘、本馬弘文、佐々木清、青田目敬夫、薄葉重雄

劍道——柏木侃一、小泉義則、磯上久美、金成柱一、立花久幸、鳥山良雄

東海林久

(平商)柔道——荒川利夫佐藤賢吉、武藤正、鈴木淳一郎、大久保一、土井計三、佐藤常雄

劍道——根本一、瀧正行袖山勝伯、江尻庄三、田中敬直、野口隆男、渡邊五郎、牛久恭志、五十嵐進

▲調味料として最も經濟的で滋養と美味に富み便利なる削節を御用命願ひ上げます
削魚節製造元卸小賣
馬上與八商店
小名濱小學校前

調味料として美味滋養に富む
花鰹節製造販賣元
高木嘉一郎商店
小名濱町定西　電話二〇八番
▼原料煮干賣買仲介▲

各種ゴム靴、ゴム合羽、ゴム前掛
革靴、運動靴、草履製造
三島印（たぬき印）ゴム工業所特約店
小島履物店
福島縣小名浜町

船舶陸機關
製作修繕
丸八鐵工場
小名…町〇港入口
電話一七五番

## 巷の聲

### 日本水素工業の西側道路開鑿に就て

### 中町區長並に定西區長等の善處を要望す

暫くの宿題となつてゐる日本水素工業西側道路開さく問題に就ては荏苒日を空うして何等妥協點も見出せず交渉も全然軌道にすら乗らず會社としても焦々しながら取付く島もない現狀に小名濱の人は只々さ嘆するのみの狀態にある

一体水素工業の西側に開さくする道路とは何であるかその本体はまた水素會社に買收されざる以前二筋位名のみの公道があつたのだが會社で土地買收してよりその道路は構内となり自然廢道の形となつたのである、爲めに會社としては東端西端に立派な道路を開さくして一般公道として補償する計畫なのである、西側開さく道ろ問題と云ふのはその一つなのである、その道ろを作るには中町區有地が隣接境界となつて居り一直線なれば面倒がないのだが、境界が甚だしく出入りがある爲めに中町く有地と少しく土地交換しなければ一直線の産業道ろが出來ず、それが爲め中町く長との間に町長及び西丸氏などが仲介の勞を取つたのだが殆ど不調に終り、その後杉原技師長中町く長の交渉もあつたのだが交渉の進展を見ず、その儘となつて居つて會社側を焦々させて居る現狀なのである、會社側より見れば構外道ろであるので會社としては使用する事は稀であり出入のある道ろでも更に差支はないのだが新道ろを開さくする精神よりすれば少しでも立派な道ろを作りたい、の心持で中町く長に交渉を試みたのだが中町く長としてはく民の福利を傷けてはと換地問題で物別れとなつて居る狀態と聞く現在の小名濱町の發展は水素工業に負ふ處甚大である事は言を俟たない程で會社の便益を計る事も町民の常識と迄考へて居る折柄でもあるのだから中町く長としても町民の期待に添ふべく盡力されたい事も町民的常識たるをも知つて貰ひたいのである、この際に會社の不興を買う事は町民としては怖しき事の一つなのである、中町く長として責任上く民に對し云々の心配あるとすればこの際善意的に諒解を求むる方策を取る事も敢て無意味ではないだらう

反面水素工業用地關係等は第四ぐ下にあり今回の道ろ開さくは第四く住民の直に必要ろとなる關係上第四く長が仲介の勞をとり圓滿なる一致點を見出す事に一肌ぬぐべきであり鈴木第四く長の性格よりしても一日も早く曩後日本晴の善處を希ふものである

小名濱町代表的立場にある兩く長に敬意を拂ひ我等町民のよ論を行爲の上に實現されん事を切望する


〝壽しの味覺〟
江戸前小料理
酩酒は生一本
杵すし支店
小名濱中島通り
電話四十八番

耳鼻咽喉科專門
レントゲン科
高柳醫院
平市驛前（電話三三六）
醫學博士 高柳博明

大正火災保險株式會社 代理店
磐城水産工業株式會社
小名濱町築港内
電話一四四番

時代の生んだ、合理化せる……
セメント瓦製造販賣
高木惣治商店
小名濱町定西
電話二一八番
◎御報せ次第參上御見積申可候

吳服類は……
樋口吳服店
小名濱町中島通り

内科・花柳病科
外科・小兒科
會田醫院
院長 會田亮
小名濱町上横町

契約者本位
一家の延長として
湯本無盡へ
御加入を御すすめする

産科
婦人科 專門
小名濱町登記所先
森口醫院
（入院手術室完備）
電話二〇一番

日曹合成鹽酸
日曹曹達灰
日曹自動三輪車
販賣
其他化學藥品類
魚糧製造
日本曹達株式會社
江名工場

齒科一般口腔外科
木田齒科醫院
小名濱町
電話一〇五番

齒科一般 口腔外科
鈴木齒科醫院
院長 鈴木正
小名濱町中町

清楚……麗華……味覺の殿堂
「幸樂」自慢の即席料理！
……小鳥……鯛……ちり……むしもの……
……水……瀧……其の他……其他一般……
……他鳥料理……なべ類……御料理……
折詰仕出しは特に勉强いたします
宴會の用意も出來て居ります是非御利用下さい
御商談に
御清遊に
御會食に
割烹仕出し幸樂
小名濱町磐城座ウラ（幸樂通り）

産院の設備も充實致しました
電話も開設致しました
何卒御利用下さい
産婆 近藤かぬ
小濱名町後宿 電話二三三番